



↑ 買い物客たちは、優美にたなびく紫根染・茜染のタペストリーを楽しみながら商店街を歩いていました。



↑ 受験生たちは自分の番号をさしながら、はじける笑顔で友人や教諭と記念撮影をしていました。

県立高校合格発表 笑顔満開 高校生活に 期待膨らむ

県立高校一般入試の合格発表が3月15日、市内高校で行われました。花輪高校では、午後3時

の発表に合わせ、掲示板の前に受験生と保護者らが集まりました。自分の番号を見つけた受験生から「やったー」「受かった」と歓声が上ががり、家族や友人も「おめでとう」と祝福の言葉をかけていました。受験生たちは友人らと掲示板の前で記念撮影をして、4月から始まる高校生活に胸を躍らせていました。

まちの話題 CITY TOPICS

紫根染・茜染彩る街 伝統の染物 で本市をPR

かづのシティプロモーション認定事業の「伝統の紫根染・茜染彩る街」が3月1日～20日、大町・新町商店街（花輪）で開催されました。

70本もの紫根染・茜染のタペストリーが大町・新町商店街に飾り付けられました。タペストリーの模様は一枚一枚

異なり、訪れた人たちは、絞り模様や斬新なデザインの紫根染・茜染に魅せられ、雅な世界に引き込まれていました。

3月1日にはオープニングセレモニーが行われ、鹿角紫根染・茜染研究会の関幸子会長は「ベニヤマザクラや山々など、鹿角に思いをはせながらオリジナルの模様で作成した。全国に優美な染物のまち鹿角の魅力を発信していきたい」とあいさつしました。

浅水英夫教諭 文部科学大臣優秀教職員表彰 ボランティアガイドの指導に 尽力

八幡平中学校の浅水英夫教諭が文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞し、3月7日、児玉市長に報告を行いました。浅水教諭は、八幡平中学校の全校ボランティアガイドで中心的に指導したことが評価されての受賞となり、生徒たちの郷土愛を育むこ

とに尽力されました。浅水教諭は「もともと質の高い教育ができると思うので、がんばっていききたい」と意欲を語りました。児玉市長は「受賞は先生たちの励みにもなる。今後子どもたちの健やかな成長のためにがんばってほしい」とたたえました。



↑ 浅水教諭（写真中央）は、受賞の喜びと今後の意気込みを伝えました。



↑ 1 パレードには多くの地域住民が駆け付け、優勝を祝福しました。2 成田生絵主将（写真右から3人目）は集まった人たちに喜びと感謝の気持ちを伝えました。3 選手たちは児玉市長に全国優勝の快挙を報告しました。



十和田高校女子スキー部インターハイ総合優勝 全国優勝地域とともに祝う

群馬県で開催された「第66回全国高校スキー大会」(インターハイ)で十和田高校の女子スキー部が、見事女子総合優勝を飾り、3月3日、児玉市長に報告を行いました。児玉市長は「初の総合優勝、本当におめでとうございます。本市の名を全国に広め、明るいニュースをもたらしてくれて嬉しい」と祝福しました。

また、3月18日には毛馬内で優勝パレードが行われ、スキー部の雄姿を一目見ようと集まった大勢の地域住民は「おめでとう」と笑顔で大きな拍手を送っていました。成田生絵主将(3年)は「監督や仲間をはじめ、支えてくれた多くの方々に感謝しています」と優勝の喜びを伝えました。

NPO法人「かづのclassy」

移住者が楽しく暮らせる地域づくりを

NPO法人「かづのclassy」のお披露目が3月18日、文化の杜交流館コモッセで行われました。かづのclassyは、移住者ネットワーク、移住・定住サポーターの会の総称

で、昨年12月に法人格を取得しました。移住希望者と地域の人の交流を促進したり、地域の情報や活動をもとめてまちの魅力として首都圏に発信する活動などを行います。

代表の木村芳兼さんは、「移住希望者を受け入れる体制を地域の皆さんと作ることで、移住者が楽しく暮らせるようにサポートをしていきたい」と熱く抱負を語りました。



↑ お披露目会には移住者や会員など約70人が参加しました。